

「リクルート教育フォーラム2016」に参加しました。

8月6日(土)、グランドトウキョウサウスタワー(東京都千代田区丸の内1-9-2)で開催された「リクルート教育フォーラム2016」に参加しました。東京駅八重洲南口の近くにそびえるサウスタワーの23階から45階はリクルート社です。その45階の展望抜群のホールに約200名が集まりました。本校からは、4名(私・菊地教頭先生・松本先生・早川先生)が参加しました。茨城県は、私立高校からの参加者が多かったです。

第一部では、文部科学省大臣官房審議官(高等教育局担当)の**義本博司氏**より「高大システム改革について」と題して、70分間の講演をいただきました。現在、文部科学省が進めている高校改革と**大学改革**がよく分かりました。名前が同じ「**博司**」なので、親近感があったのですが、終了後すぐお帰りになったので名刺交換ができず、残念でした。

第二部は、分科会でした。私と早川先生は、分科会①「**教育改革最前線**」に、菊地教頭先生と松本先生は分科会②「**ICT・アクティブラーニングが授業を変える**」に参加しました。分科会①での、リクルート進学総研所長の**小林浩氏**と、「キャリアガイダンス」編集長の**山下真司氏**によるプレゼンテーションは**超一流**でした。小林氏は、昨年度開催されていた文科省の「高大接続システム改革会議」の委員でした。私は、文科省に申し込んでその会議を**3度傍聴**しましたが、会議でいつも前向きな発言をされる方でした。

さて、ドリーム**第73・74・77・78号**は、私が行った東京でのセミナーの報告でした。実は、このような「**セミナーマニア(?)**」になったきっかけは、昨年8月1日(土)に市ヶ谷で開催されたリクルート主催の「高大接続改革の現状と課題」と題したセミナーでした。そこで、**小林浩氏**と文科省の**合田哲雄課長**と「**教育界のさだまさし**」**藤原和博氏**の講演を聴いて以来、東京での企業系セミナーの虜(とりこ)になってしまいました。

「並木ドリーマー」の**管理職・教員・学生の皆さん**、ぜひ、東京での企業系セミナーに出てみてください。教育に対する視野が広がります。そして、**アクティブラーナー**になることができます。私は8月後半、AL関係で4つのアウトプットがあります(^_^)v。

